

令和7年度 第3回ひのみね支援学校学校運営協議会 議事録

1 日時 令和8年2月27日（金） 14時～15時30分

2 場所 ひのみね支援学校 図書室

3 会議（参加委員11名）

開会：進行（事務局）

① 学校長挨拶

協議：進行（会長）

② 今年度の教育活動および学校評価について（教頭より説明）

全学部、全課において、総合評価「A」の承認をいただいた。

③ 学校評価に関するご意見・感想等

○保護者からの評価について

保護者からアンケート等をとっているのか。

→各種行事研修会において保護者アンケートを実施し、評価をいただいている。

○「ひのみねからの発信」の取組について

「ひのみねからの発信」の取組は良い取り組みであると感じている。アンケートの結果はどのような内容であったのか。

→今年度からQRコードでも回答できるようにしたが、紙媒体の回収が多かった。作品を通して元気をもらった、素敵な作品であった、定期的に開催してほしいなど、好意的な意見をたくさんいただいた。

○文化祭について

1年間でたくさんの行事を行っていると感じている。

文化祭前日祭にも参加させていただいたが、地域の人等も参加しているのか。

文化祭を通して多くの取組を知るきっかけとなった。地域の人にももっと学校のことを知ってもらえたらと思う。

→コロナ禍前は公開していたが、コロナ禍以降は感染症対策のため制限している。

今年度、保護者の人数制限をなくした。来年度以降についても、感染症の拡大状況をみながら少しずつ対象を広げていければと考えている。

○障がい者スポーツについて

学校でパラスポーツの体験を行ったり、全国障害者スポーツ大会に出場した生徒もいたり、スポーツについての取組を行っているので、学校の中に留めるのはもったいないと思う。校外のイベント等で取組を発信すると、工夫すれば障がいの有無にかかわらず競技ができるということを知ってもらえるのでは。

→ホームページ等で発信していきたい。

○児童生徒の表出方法の記録について

どのように記録を取っているのか。紙であって、ICTとかではないのか。

→児童生徒の表情や反応を簡潔に共有できる記録方法を紙媒体で工夫し、教職員間での共有を強化している点について説明を行った。

○高等部の評価指標について

高等部は卒業後を意識した取組が大切であると思う。社会とのつながりに関する参加意欲の評価だけでなく、学習面、進路面に関する評価項目を付け加えてもいいのではないか。

○避難訓練について

今年度初めて告知なしの火災避難訓練を行ったということであるが、消防本部としても、告知なしの避難訓練を推奨している。継続して欲しい。消防も協力できるので、必要であれば声をかけてください。

○卒業後の進路について

高等部卒業後の進路について、生活介護施設の受け皿が減少しており、体制の整備や卒業後のアフターケアの継続が必要ではないか。また、卒業生や保護者の声を聞くことができる進路説明会を初めて行ったが、今後も恒例化し、早期の保護者への情報提供が必要ではないかなど、卒業後の進路についてさまざまな意見や助言をいただいた。

④ 協議

「地域学校協働活動」を推進していくために

「地域学校協働活動」について説明を行い、次年度も協力いただけることとなった。協議の結果、2名の委員が地域学校協働活動推進員を引き受けてくださった。

閉会：進行（事務局）

⑤ 学校長お礼